



乳・幼児期の子どもたちへの学習支援

「だめ」「ちがう」「はやく」を言わない学習支援



例えば、こんなことで困っていませんか？

- ことばが出ない、遅い
- ことばの発音が不明瞭だ
- 食べ物を咀嚼できない
- 偏食が多い
- 友だちに手を出してしまう
- 集団の中に入れない



こんなことでお困りなら
それはお子さんに合わせた
学習指導ができていない
のかもしれない。

当センターでは、お子さん一人ひとりの特性に合わせた学習指導や日常生活につながる学習を行っています！

当センターの特徴はここ！

①的確な実態把握を

初回の面接で現在の力を把握し、一人ひとりの特性に応じた指導と今後の方向性をお話しさせていただき、指導を開始します。

②連携したかわり

必要に応じ、所属する園へ訪問します。また、園の先生からの訪問も受けています。一緒に考える仲間でありたいと思っています。

③保護者の方もお子さんの

力を引き出せるようになる
保護者の方に指導時の記録係をしてもらっています。お子さんがどんなところでつまづくのか、細かく観察する目が養われます！

週1回から月1回まで、ご希望に応じて回数を決めます。

利用料 初回面接：6,000円 個別の指導（1回50分）：1回4,000円

卒業はありませんので、何歳まででも通い続けることができます。

NPO法人 山口発達臨床支援センター

山口県防府市自由ヶ丘1-5-7

TEL&FAX (0835) 25-8808

E-mail info@yhattatsu.or.jp

U R L http://yhattatsu.or.jp/

ブログ、facebookでも随時発信中！

まずは
見学に来られませんか

山口発達臨床

検索

当センターの学習指導

例えば、ことばの遅れで悩んでいる場合

ただ単に発語の練習だけでなく、原因を考え方針を立てます！

- 絵や実物の名前を理解していますか？（理解言語の発達段階）
- 相手とのコミュニケーションを取ろうとしていますか？
（三項関係の成立）
- 目と手が協応していますか？
- 記憶の力はどれくらいですか？
- 全体の形と部分の形を見分けられますか？・・・



これらを把握した上で一人ひとりに合わせて指導をしていきます！



娘はダウン症のため筋力が弱く口唇も上手に閉鎖できず上手に食事を摂ることが難しかったので、摂食指導も含めて学習指導を進めていただきました。彼女を見ていると、“わかった”“できた”の経験が、“もって勉強したい”“やりたい”という意欲になって、“学ぶことの楽しさ”“生きがい”という生きるための根っこになっていくのを感じます。私たちに“学ぶこと”“生きること”の意味を教えてください。

（5歳から来所 総合支援学校1年母）

親が気付かない彼らのいいところや可能性を見出していただいたり、私自身も研修会や茶話会に参加させていただいたりしながら、いろいろな視点を持たせていただいています。

（小学校1年母）

年長からセンターに通い始めて5ヶ月が経ちました。初めは小さい声で「はじめます」と言っていたのに、今ではおしゃべりが止まりません。親が思っていた以上にできないことが多くとまどい、もっと早く動いていれば良かったと後悔しながらもセンターを訪ねました。先生は毎回、ちょっとした変化を見つけ、子どもだけでなく、親も褒めてくださいます。それがうれしくて、親子共々やる気が倍増するのです。通い始める前は、焦りから頑張り過ぎてしまい、親子で余裕がなくなっていました。今は、家庭でできることをアドバイスいただき、無理ない範囲で頑張っています。

（年長から来所 小学校1年母）

NPO法人 山口発達臨床支援センター

山口県防府市自由ヶ丘1-5-7

TEL&FAX (0835) 25-8808

E-mail info@yhattatsu.or.jp

URL http://yhattatsu.or.jp/

ブログ、facebookでも随時発信中！

まずは
見学に来られませんか

山口発達臨床

検索